

平成28年度 東成区運営方針

【様式1】

(区長: 森本 万喜子)

◆計画

区の目標（何をめざすのか）	
・区民ひとりひとりが未来に希望を持てる住みよいまちをめざす ・区民がまちづくりや区政に参画し、生きがいを感じ、安全・安心でいきいきとしたまちをめざす	
区の使命（どのような役割を担うのか）	
・区民の要望や地域活動情報を多面的に把握し、区役所が主体的に調整機能を発揮することで、地域の特色を活かしたまちづくりに区民と協働して取り組む ・区民の日常生活の安全・安心や子育て、教育、福祉などを担う総合拠点として、区の課題解決に取り組むとともに、区民が利用しやすく信頼される区役所とする ・東成区のために区民とともに目標とするまちづくりを進める職員を育成する	
平成28年度 区運営の基本的な考え方（区長の方針）	
・区の防災力の強化に向けて、地域の特性を踏まえた防災活動を支援するとともに、学校との連携を深めるなど地域や学校の防災・防犯意識の向上に取り組めます。 ・地域で安心して子育てができる環境を作るとともに、地域や学校・PTA等との連携により特色ある学校づくりを推進します。 ・高齢者や障がい者が安心して暮らせるよう、地域社会全体で支援する仕組みづくりを進めるとともに、区民の健康に対する意識の向上に取り組めます。 ・地域の実態に合った活動を進められるよう、地域活動協議会への支援や区民・各種団体等との連携の強化、多くの区民の参加による地域資源を活用したまちの活性化に取り組めます。	
重点的に取り組む主な経営課題（様式2）	
経営課題の概要	主な戦略
【経営課題1】安全で安心なまちづくり(防災・防犯) ・災害の発生に備えての住民同士が助け合う体制づくりや、犯罪が起こりにくい地域環境づくりに取り組む必要がある。	【1-1 防災対策】 ・地域との協働による地区防災計画の策定と避難所運営訓練の実施 ・学校園の防災教育の推進 【1-2 防犯対策】 ・子どもの防犯意識を高める啓発活動 ・警察等との連携による情報共有及び街頭犯罪防止チーム等による効率的な巡回
主な具体的取組（28年度予算額）	
【1-1-1 地域防災対策の支援】 ・地域実情に合った「地区防災計画」の策定を支援するとともに収容避難所運営等の実践的な防災訓練の実施を支援するとともに協力企業登録制度を進める。[予算額3,872千円] 【1-2-1 防犯意識の向上と関係機関との連携強化】 ・子どもへの防犯啓発、地域・警察等との連携、犯罪抑止のための効率的な巡回に取り組む。[予算額4,056千円]	
経営課題の概要	主な戦略
【経営課題2】教育環境と子育て支援の充実 ・良好な教育環境が整備され、子どもたちが健やかに成長できるよう、学校運営の支援を行う必要がある。 ・地域社会全体で子育て家庭を支援する環境づくり、子育て情報発信や相談機能を充実する必要がある。	【2-1 子どもが育つ環境整備】 ・学校との連携による特色ある学校づくりの推進 【2-2 子育て支援】 ・子育て家庭と地域とのつながりづくりの支援と情報提供 ・保育所に受け入れ児童の増加の働きかけ
主な具体的取組（28年度予算額）	
【2-1-1 子どもが育つ良好な環境整備】 ・学校長等との意見交換を通じ特色ある学校づくりに協働して取り組む。[予算額―] 【2-2-1 子育てネットワーク構築支援事業】 ・子育て家庭と地域のつながりづくりのための「ひがしなりっ子すくすく・つながるクラブ」の取り組みや子育てイベントを開催する。[予算額434千円]	
経営課題の概要	主な戦略
【経営課題3】地域福祉と健康づくりの充実・推進 ・地域福祉における支え合いの充実と、区民一人ひとりが健康寿命の延伸に向けて健康づくりや検診、病気の予防等を行うなど、取り組みを進める必要がある。	【3-1 要支援者セーフティネットの構築】 ・「東成区地域福祉アクションプラン」や「東成区地域保健・地域福祉ビジョン」に基づく地域福祉の取り組みと情報発信の推進 【3-2 健康づくりの推進】 ・健康寿命の延伸に向け区民や地域が主体的に取り組む健康づくりについての啓発活動や情報発信
主な具体的取組（28年度予算額）	
【3-1-1 地域における支え合いの充実】 ・多様な主体が連携し支え合う仕組みである「おまもりネット事業」を推進する。[予算額22,084千円] 【3-2-1 健康づくりへの意識の向上】 ・地域の健康教室やイベントの開催により健康づくりの啓発活動や情報発信に取り組む。[予算額733千円]	

経営課題の概要	主な戦略
【経営課題4】まちの魅力向上 ・地域の様々な活動主体が参加・参画し、地域課題の解決に取り組むとともに、地域資源を活かしたまちづくりの活性化を進める必要がある。	【4-1 区民主体のまちづくりの支援】 ・地域活動協議会への財政的支援と中間支援組織による支援 【4-2 多様な協働による地域活動の活性化】 ・ふれ愛パンジーやイベントの活用による交流機会や場の提供
主な具体的取組（28年度予算額）	
【4-1-1 地域活動協議会に対する支援】 ・地域活動協議会への支援や地域情報の発信、交流会や勉強会を開催する。[予算額17,500千円] 【4-2-1 多様な協働による地域活動の活性化】 ・多様な主体と地域とがつながれる「ひがしなり街道玉手箱」を開催する。[予算額1,447千円] 【4-2-4 「東成区の地域資源」魅力発信事業】 ・「モノづくり」を通じた次世代の担い手育成に取り組む。[予算額1,530千円]	
経営課題の概要	主な戦略
【経営課題5】区民が利用しやすく信頼される区役所づくり ・区民の意見や要望が区役所に届き、わかりやすい区政情報が区民にいきわたるなど、区民満足度の向上に取り組むとともに、区民に信頼される職員を育成する必要がある。	【5-1 透明性と納得性の高い区政運営の推進】 ・区民の多様な意見やニーズの把握と区政への反映 【5-2 情報発信機能の多様な活用】 ・様々な広報媒体の活用と情報発信における地域参加による地域課題の解決 【5-3 便利で信頼される区役所づくり】 ・区民満足度の向上と区民に信頼される職員の育成
主な具体的取組（28年度予算額）	
【5-1-1 区政会議の運営】 ・区民の意見やニーズを把握し、区政運営の参考として活用するため、区政会議と部会を開催する。[予算額217千円] 【5-2-1 広報・情報発信の充実】 ・区広報紙、ホームページ等、様々な広報媒体を活用し、わかりやすく魅力的な広報を行うとともに、地域参加型の広報紙の配布業務を通じて地域課題の解決を図る。[予算額14,464千円] 【5-3-1 区民サービスの向上】 ・「来庁者満足調査」等により来庁者の声を活かすとともに、職員のプロジェクトチームによる業務改善に取り組む。[予算額―]	

現行の「市政改革の基本方針」に基づく取組等（様式3）	
主な取組項目	取組内容
国民健康保険料未収金圧縮の取組み強化	・国民健康保険料収入の確保に向けて、早期の納付相談・納付指導を強めることで未収金の発生を抑えるとともに、未収金の回収に努める。
主な取組項目	取組内容
附設会館（区民センター）におけるサービス向上	・アンケート調査や利用者ニーズ調査を実施し、利用時間や利用者等で分析し、きめ細やかな利用者のサービス向上に取り組む。
主な取組項目	取組内容
ホームページバナー、広報紙、施設等への広告掲載	・広報紙やホームページバナー、庁舎内広告等の様々な媒体において広告掲載を募集する。

◆自己評価

1 年間の取組成果と今後取り組みたいこと

1 安全で安心なまちづくり(防災・防犯)

各地域での地区防災計画の策定や収容避難所運営訓練の支援を行い、地域防災力の向上に取り組んだ。また、小学校等で防犯教室を開催し、子どもの自主防犯意識の向上を図るとともに、地域や警察と連携し、地域の自主防犯意識の促進ならび街頭犯罪の抑止に努めた。

引き続き、災害に備えた地域で助け合う体制づくりの支援を行うとともに、防犯カメラの設置など安全で安心なまちづくりを進める。

2 教育環境と子育て支援の充実

学校長等との意見交換を通じて、区役所と学校との連携事業を行うなど特色ある学校づくりの支援を行った。また、地域団体や子育てサークル・企業等と連携した子育てイベントを開催し、地域社会全体で子育て世帯を支援する環境づくりに努めた。引き続き、家庭や地域、学校、子育て支援施設等との連携により、子どもの体力向上につながる取組みをはじめイベント内容の充実や情報発信の強化を通して、教育環境の整備と子育て支援に取り組んでいく。

3 地域福祉・健康づくりの充実・推進

区役所で「おまもりネット事業」の相談・説明会を開催することで、新規登録者の増加に努めるとともに、緊急時安否確認(かぎ預かり)事業を行い、セーフティネット構築を推進した。また、百歳体操の啓発、実施支援やがん検診等の啓発を行った。引き続き、地域や関係機関と連携し、より重層的なセーフティネットの構築及び健康寿命の延伸に取り組んでいく。

4 まちの魅力向上

モノづくりの魅力を区内外に発信するため、イベントの実施やマスメディアを利用した情報発信を行った。また、まちの魅力について次世代を担う子どもたちの理解促進を図った。さらに、地域資源や各種団体等のネットワークを活用した「ひがしなり街道玉手箱」を開催することにより地域の活性化に努めた。引き続き、多様な活動団体と協働しながら、東成区の魅力向上に取り組んでいく。

5 区民が利用しやすく信頼される区役所づくり

区政会議の開催や各地域、団体との日常的なコミュニケーションを通じて、区民の多様な意見やニーズの収集を行うとともに、いただいた意見を区政運営に反映するよう努めた。また、区民サービス向上を目的とした職員プロジェクトチームを設置し、区民が利用しやすい区役所への改善を図った。引き続き、区民ニーズを区政運営に反映するよう努めるとともに、利用しやすく信頼される区役所づくりに取り組んでいく。

解決すべき課題と今後の改善方向

「まちの魅力向上」について、様々な活動主体の連携・協働によりまちづくりが進められていると感じている区民の割合のアウトカム達成に向けては、より一層区民に実感してもらえるような工夫が必要である。区民や多様な活動主体と協働しながらまち歩き等を実施し、東成区の魅力を区内外に発信することで地域の活性化につなげていく。また、「区民が利用しやすく信頼される区役所づくり」についても、区政会議や区民アンケートを通じて、区民の多様な意見等が区役所に届いていると感じる区民の割合は上昇しているものの、アウトカムの達成に向けては、より一層区民に実感してもらえるような広報、情報発信の工夫が必要である。区民により関心を持ってもらえるような情報発信の充実に努めていく。

重点的に取り組む主な経営課題

経営課題 1

【安全で安心なまちづくり(防災・防犯)】

めざすべき将来像（最終的なめざす状態）＜概ね10～20年間で念頭に設定＞

＜防災＞

・災害の発生に備えて住民同士が助け合う体制が整っている状態

＜防犯＞

・区民の防犯意識が高く、街頭犯罪が起りにくい地域環境となっている状態

現状（課題設定の根拠となる現状・データ）

＜防災＞

・地区防災計画の策定(平成27年度)

① 検討中	4地域／11地域
② 策定完了	5地域／11地域

・地域防災訓練の内容(平成27年度)

① 初期消火・救助訓練	11地域／11地域
② 避難訓練	11地域／11地域
③ 収容避難所開設訓練	11地域／11地域
④ 収容避難所運営訓練	2地域／11地域

＜防犯＞

・子ども事案の発生件数

平成26年	平成27年
23件	23件

※安まちメールより集計

・街頭犯罪発生件数

平成26年	平成27年
777件	710件

・自転車盗の発生件数

平成26年	平成27年
454件	445件

計画

要因分析（現状・データから導かれる分析結果）＜めざすべき将来像と現状に差が生じる要因＞

＜防災＞

・すべての地域で、災害時の初期初動訓練（初期消火・救助・収容避難所開設訓練）が実施されており、地区防災計画を策定した地域では、地域特性に応じた初期初動訓練が実施されている。

・中長期の避難所運営訓練は、2地域の実施にとどまっている。

＜防犯＞

・子ども事案、街頭犯罪の発生件数は昨年と同レベルで発生しており、依然として高い数値で推移している。

課題＜上記要因を解消するために必要なこと＞

＜防災＞

・各種訓練の計画的・組織的な遂行には、地域による地区防災計画の策定に取り組むとともに、防災・減災に繋がる地域特性に応じた防災活動を継続実施していく必要がある。

・中長期の避難生活を想定した収容避難所運営訓練を実施することが必要である。

＜防犯＞

・地域の自主防犯活動の促進を図り、区役所職員(あんパト)や街頭犯罪防止チーム(市民局委託業者)による青色防犯パトロールカーや自転車による巡回をはじめ、警察や地域との連携による犯罪の抑止活動に取り組む必要がある。

・学校の土曜日授業などを活用して防犯教室を行い、子どもが犯罪に巻き込まれないよう啓発するとともに、犯罪に巻き込まれそうになった場合の緊急回避行動の習得に取り組む必要がある。

・自転車盗、ひったくりなどの街頭犯罪に対し、警察や地域との連携により、ツーロックキャンペーン、ひったくり防止カバー取り付けキャンペーン等を行い、区民が被害者とならない啓発に取り組む必要がある。

戦略の進捗状況を踏まえた経営課題全体としての評価結果の総括

＜防災＞

・地区防災計画については、概ね計画どおりに策定支援することができた。

・収容避難所運営訓練は、同訓練に係る課題等の整理を図りながら、平成29年度末までに全地域が実施できるように支援を行っていく。

＜防犯＞

・区役所職員(あんパト)による青色防犯パトロール車両や自転車による巡回をはじめ、警察や地域との連携によるひったくり防止カバー取り付けキャンペーンなどの防犯活動に取り組んだ。

また、青色防犯パトロール車両については、地域団体に車両を貸出し、防犯力向上を推し進めることができた。

・子どもに対する犯罪抑止の取組みについては、小学校低学年や就学前児童を対象とした子ども防犯教室等を開催し、啓発に努めた。

・こうした防犯活動の取組みにより、対策が進んでいると感じる区民の割合も約7割に達した。

自己評価

めざす成果及び戦略 1-1 【防災対策】

計画	めざす状態＜概ね3～5年間で念頭に設定＞		戦略＜中期的な取組の方向性＞	
	・防災・減災に繋がる地域実態を踏まえた、地域による地区防災計画が策定され、地域特性に応じた防災訓練が実施されている状態		・地域において、「地区防災計画」が策定されるよう取り組む。 ・中長期を意識した収容避難所運営訓練や、様々な立場の区民が参加できるような訓練を実施する。 ・学校園が防災教育を推進できるように支援する。	
自己評価	アウトカム＜めざす状態を数値化した指標＞			
	・地区防災計画の策定：平成28年度末までに11地域			
	・中長期を意識した収容避難所運営訓練など地域特性に応じた防災訓練が実施されている地域：平成29年度末までに11地域			
自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性	ア	課題 ※有効性が「イ」の場合は必須	
	ア：有効であり、継続して推進 イ：有効でないため、戦略を見直す			
	アウトカムの達成状況	前年度	個別	全体
	地区防災計画の策定：11地域	5地域	A	A
	収容避難所運営訓練：6地域	2地域	A	A
A：順調 B：順調でない				
自己評価	戦略の進捗状況	a	課題 ※有効性が「イ」の場合は必須	
		a：順調 b：順調でない		

具体的取組 1-1-1 【地域防災対策の支援】

26決算額 1,347千 円 27予算額 3,000千 円 28予算額 3,872千 円

計画	取組内容		業績目標（中間アウトカム）	
	地域の「地区防災計画」の策定や防災訓練の充実を図るとともに、事業者等との連携のための協力企業登録制度を進める。また、学校園が行う防災教育を支援する。 ・「地区防災計画」にかかる説明会の実施 ・中長期を意識した収容避難所運営訓練にかかる説明会の実施 ・広報紙等での防災特集記事による広報 ・学校園との防災カリキュラムの策定と、防災教育への支援		・地区防災計画を策定し、収容避難所運営訓練等の地域実態を踏まえた防災訓練を実施している地域：6地域 【撤退基準】 ・上記目標が3地域以下であれば事業を再構築する。	
中間振り返り	業績目標の達成状況		課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	①：目標達成（見込）（i）取組は予定どおり進捗（ii）取組は予定どおり進捗していない ②：目標未達成（見込）（i）取組は予定どおり進捗（ii）取組は予定どおり進捗していない ③：撤退基準未達成			
	戦略に対する取組の有効性			
	○			
自己評価	取組実績		課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	・「地区防災計画」にかかる説明会の実施：12回 ・広報紙等での防災特集記事による広報：1回 ・学校園との防災カリキュラムの策定と、防災教育への支援：11回			
	業績目標の達成状況			
	・地区防災計画を策定し、収容避難所運営訓練等の地域実態を踏まえた防災訓練を実施している地域：6地域		改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	①：目標達成（i）取組は予定どおり実施（ii）取組を予定どおり実施しなかった ②：目標未達成（i）取組は予定どおり実施（ii）取組を予定どおり実施しなかった ③：撤退基準未達成			
自己評価	戦略に対する取組の有効性			
	○			

めざす成果及び戦略 1-2 【防犯対策】

計画	めざす状態＜概ね3～5年間で念頭に設定＞			戦略＜中期的な取組の方向性＞		
	・子どもの事案が減少している状態 ・街頭犯罪を減らし、「安全で安心して暮らせるまち」になっている状態			・子どもの自主防犯意識の向上を図る。 ・防犯意識を高め、地域の自主防犯活動の促進を図るとともに、警察などの関係機関と連携し、犯罪抑止のための効果的な防犯対策に取り組む。		
	アウトカム＜めざす状態を数値化した指標＞					
・防犯対策が進んでいると感じる区民の割合：平成29年度末までに50%以上						

自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性		ア	ア：有効であり、継続して推進 イ：有効でないため、戦略を見直す			課題	※有効性が「イ」の場合は必須	
	アウトカムの達成状況		前年度		個別	全体	—		
	防犯対策が進んでいると感じる区民の割合：73%（区民アンケート）		77%		A	A	今後の対応方向		※有効性が「イ」の場合は必須
							—		
	A：順調 B：順調でない								
戦略の進捗状況		a	a：順調 b：順調でない						

具体的取組 1-2-1 【防犯意識の向上と関係機関との連携強化】

26決算額 1,112千円 27予算額 1,363千円 28予算額 4,056千円

計画	取組内容		業績目標（中間アウトカム）	
	街頭犯罪の抑止に向けて、防犯カメラの設置を進め、子どもへの防犯啓発と地域の自主防犯活動、警察等との連携による防犯対策に取り組む。 ・子ども防犯教室の開催 ・「安全・安心ミニフェスタ」の開催：2回 ・地域の見守り隊などと連携したあんパトによる地域巡回 ・ひったくり防止カバー取り付けキャンペーン ・防犯カメラの設置検討		・区役所が地域や警察等と連携して取り組む防犯活動を知っている区民の割合：50%以上 【撤退基準】 ・上記目標が40%未満であれば事業を再構築する。	
			前年度までの実績 平成27年度実績 ・子ども防犯教室の開催 ・「安全・安心ミニフェスタ」の開催：2回 ・地域の見守り隊などと連携したあんパトによる地域巡回 ・街頭犯罪抑止チームによる巡回	
中間振り返り	業績目標の達成状況	① (i)	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	①：目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②：目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③：撤退基準未達成		—	
	戦略に対する取組の有効性	—	○：有効 ×：有効でないため取組を見直す —：中間アウトカム未設定(未測定)	
自己評価	取組実績		課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	・子ども防犯教室の開催：26回 ・「安全・安心ミニフェスタ」の開催：2回 ・ひったくり防止カバー取り付けキャンペーン：23回 ・防犯カメラの設置：11台 ・地域の見守り隊などと連携したあんパトによる地域巡回		—	
	業績目標の達成状況		改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	・区役所が地域や警察等と連携して取り組む防犯活動を知っている区民の割合：75%(区民アンケート)		① (i)	
	①：目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②：目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③：撤退基準未達成		—	
	戦略に対する取組の有効性	○	○：有効 ×：有効でないため見直す —：中間アウトカム未設定(未測定)	

計 画	めざすべき将来像（最終的なめざす状態）＜概ね10～20年を念頭に設定＞
	＜教育環境＞ ・地域社会全体で子育て家庭を支援する環境が整い、子育て家庭が安心して子育てができる状態 ＜子育て支援＞ ・学校、保護者、地域等が協力し合い、子どもたちにとって良好な教育環境が整い、子どもたちは、将来を生き抜く力を身につけて、それぞれの可能性を伸ばせるようになっている状態
	現状（課題設定の根拠となる現状・データ）
	＜教育環境＞ ・朝食を毎日食べている割合 小学生…大阪市92.9[－0.5ポイント]、全国96.3[－0.3ポイント] 中学生…大阪市87.9[－0.5ポイント]、全国93.5[＋0.1ポイント] ・毎日同じくらいの時刻に寝ている割合 小学生…大阪市72.8[＋0.1ポイント]、全国79.2[＋0.3ポイント] 中学生…大阪市70.7[－0.5ポイント]、全国74.1[－0.2ポイント] 【平成26年度全国学力・学習状況調査】[]は前年度比較 ＜子育て支援＞ ・子育て世帯に対する地域や東成区の取り組みについての満足度:66.7%[＋24.4ポイント] ・学校就学前の子育てに関することで、困ったときの相談先の割合(複数回答可)＜上位項目＞ 家族・親戚・知人等:98.0%／幼稚園・保育所(園):41.2%／子育て支援センター・子ども子育てプラザ:15.7%／区役所:7.8%／地域子育てサークル:7.8% ・東成区や各校下で取り組んでいる子育て支援事業に参加したことのある割合:49.0%[－2.3ポイント] 【平成26年度区民モニター】[]は前年度比較 計 平成27年4月1日現在 保育所待機児童:0人
	要因分析（現状・データから導かれる分析結果）＜めざすべき将来像と現状に差が生じる要因＞
	＜教育環境＞ ・子どもは家庭生活をはじめ、学校、地域など社会における様々な経験や人との交流を通じて成長していくことから、朝食の喫食の有無や規則正しい起床などの生活習慣の課題や様々な体験機会の減少などがその要因の一つとして考えられる。 ＜子育て支援＞ ・子育て世代に対する地域や行政の取り組みへの満足度は昨年度よりも大幅に高い結果となった。子育てイベントや講座など、地域団体や子育てサークル、企業等との連携した取り組みの成果が少しずつ表れてきたものと考えられる。 ・地域の子育て支援機関における子育て相談の割合が低く、行政や地域の子育て支援事業への参加についても約半数と少ない。相談機会や子育て支援事業の情報が子育て世代に十分に知られておらず、またそのため活用されていないことが要因の一つとして考えられる。
実 績	課題＜上記要因を解消するために必要なこと＞
	＜教育環境＞ ・健全な生活習慣の形成や多様な体験ができる環境づくりのためには、家庭はもとより学校、地域が連携して、子どもや学校を支える環境作りが必要である。 ＜子育て支援＞ ・子育て家庭の満足度を高め、安心して子育てできるよう、身近な相談・支援体制の充実や、地域社会全体で子育て家庭を支援する仕組みを充実していく必要がある。また、さまざまな機会や広報媒体を活用して情報提供に努めていく必要がある。 ・年度当初の保育所待機児童は0人であるが、保留となった児童や途中入所できていない児童もいるため、保育所（入所枠）の確保に努めていく必要がある。
実 績	戦略の進捗状況を踏まえた経営課題全体としての評価結果の総括
	＜教育環境＞ ・健全な生活習慣の形成や多様な体験ができる環境づくりのためには、家庭・学校・地域が連携して、取り組むことが必要であることから、学校長等との意見交換を通じて、区役所と学校との連携事業に取り組むとともに、特色ある学校づくりに向けて学校が必要な支援を行うことができた。 ＜子育て支援＞ ・子育て支援の充実については、イベントの充実や「ひがしなりっ子・すくすくつながるクラブ」の取組みの推進、さまざまな広報媒体による情報提供などにより、身近な相談支援体制や子育て情報の満足度などの業績目標を達成し、アウトカム指標の満足度も高い評価を得ることができた。 ・保育所待機児童の解消については、目標の待機児童0人を達成したが、保留となった児童や途中入所できない児童もいるため、引き続き保育所入所枠の確保に努めていく。

めざす成果及び戦略 2-1 【子どもが育つ環境整備】

計画	めざす状態＜概ね3～5年間で念頭に設定＞				戦略＜中期的な取組の方向性＞	
	・地域・保護者・学校等と連携し、子どもや学校を支援する環境が整っている状態 ・特色ある学校づくりが推進されるよう、学校と区役所の協力関係が構築されている状態				・学校長等との意見交換を通じ特色ある学校づくりに取り組む。	
	アウトカム＜めざす状態を数値化した指標＞					
・学校関係者が、学校が地域や区役所からの連携や支援を得られていると感じる割合：平成29年度までに60%以上						

自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性		ア	ア：有効であり、継続して推進 イ：有効でないため、戦略を見直す		課題 ※有効性が「イ」の場合は必須	
	アウトカムの達成状況			前年度	個別	全体	
	・学校が区役所と連携することで、学校が必要な支援を得られていると感じる割合：100%			93%	A	A	—
							今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須
	A：順調 B：順調でない						
	戦略の進捗状況		a	a：順調 b：順調でない			—

具体的取組 2-1-1 【子どもが育つ良好な環境整備】

		26決算額	36千 円	27予算額	— 円	28予算額	— 円
計画	取組内容			業績目標（中間アウトカム）			
	小・中学校の校長との意見交換を行い、学校が必要とする支援を行う。 ・学校長との意見交換の実施：13回 ・教育行政連絡会：6回 ・土曜授業等での区職員の協力：11回 ・「学校協議会」への参加：45回 ・区内全小学校が集う講演会の開催 ・地域のスポーツや青少年健全育成に向けた活動の広報			・区役所と連携した事業に満足と感じる学校の割合：60% 【撤退基準】 ・上記割合が30%を下回る場合は事業を再構築する。			
				前年度までの実績 平成27年度実績 ・区長と学校長との意見交換：13回 ・土曜授業等での区職員の協力：11回 ・学校協議会への参加：47回			
中間振り返り	業績目標の達成状況		① (i)	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須			
	①：目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②：目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③：撤退基準未達成			—			
	戦略に対する取組の有効性		—	○：有効 ×：有効でないため取組を見直す —：中間アウトカム未設定(未測定)			
自己評価	取組実績			課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須			
	・学校長との意見交換の実施：17回 ・教育行政連絡会：6回 ・土曜授業等での区職員の協力：24回 ・「学校協議会」への参加：57回 ・区内全小学校が集う講演会等の開催：2回			—			
	業績目標の達成状況						
	区役所と連携した事業に満足と感じる学校の割合：100%		① (i)	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須			
自己評価	①：目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②：目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③：撤退基準未達成			—			
	戦略に対する取組の有効性		○	○：有効 ×：有効でないため見直す —：中間アウトカム未設定(未測定)			

めざす成果及び戦略 2-2 【子育て支援】

計画	めざす状態＜概ね3～5年間で念頭に設定＞		戦略＜中期的な取組の方向性＞	
	・子育て家庭が地域で気軽に相談でき、必要な支援や情報を受け取ることができる状態		・「ひがしなりっ子すくすくつながるクラブ」の充実を図り、子育て家庭と地域のつながりづくりを支援する。 ・子育てに役立つ情報を提供する。 ・待機児童の解消をめざして保育所（園）に受け入れ児童の増加を働きかける。	
計画	アウトカム＜めざす状態を数値化した指標＞			
	・東成区や地域の子育て支援の取り組みに満足する区民の割合：平成29年度までに70%以上 ・保育所待機児童数：0人（平成29年4月1日時点）			
自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性	ア	課題 ※有効性が「イ」の場合は必須	
	ア：有効であり、継続して推進 イ：有効でないため、戦略を見直す			
	アウトカムの達成状況	前年度	個別	全体
	東成区や地域の子育て支援の取り組みに満足する区民の割合：94%（イベント時のアンケートによる）	73%	A	A
自己評価	保育所待機児童数：0人（平成29年4月1日時点）	0人	A	
			今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須	
自己評価	戦略の進捗状況	a	a：順調 b：順調でない	

具体的取組2-2-1 【子育てネットワーク構築支援事業】

26決算額 269千 円 27予算額 5,114千 円 28予算額 434千 円

計画	取組内容		業績目標（中間アウトカム）	
	「ひがしなりっ子すくすくつながるクラブ」の取り組みや子育てイベントを開催する。 ・子育てボランティア「子育て応援隊」の地域への派遣：11回 ・「子育てふれあいサークル大・集・合！」の開催：1回 ・「子育てフォーラム」の開催：1回 ・「子育てフェスタ」の開催：1回 ・「ひがしなりっ子 すくすくつながるうんどうかい」の開催：1回 ・子育ての「専門分野別実務者会議」の開催：5回		・身近な地域で気軽に子育ての相談ができると感じる子育て中の区民の割合：50% 【撤退基準】 ・上記目標が30%未満であれば事業を再構築する。 前年度までの実績 平成27年度実績 ・「ひがしなりっ子すくすくつながるクラブ」登録者：1,199人 ・子育てボランティアの派遣：14回 ・「地域子育てサークルイベント」、「子育てフォーラム」、「ひがしなりっ子 すくすくつながるうんどうかい」、「子育てフェスタ」の開催：各1回	
中間振り返り	業績目標の達成状況	① (i)	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	①：目標達成（見込）（i）取組は予定どおり進捗（ii）取組は予定どおり進捗していない ②：目標未達成（見込）（i）取組は予定どおり進捗（ii）取組は予定どおり進捗していない ③：撤退基準未達成			
自己評価	戦略に対する取組の有効性	—	○：有効 ×：有効でないため取組を見直す —：中間アウトカム未設定（未測定）	
自己評価	取組実績		課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	「ひがしなりっ子すくすくつながるクラブ」の登録状況：1,551人（平成29年3月末） ・子育てボランティア「子育て応援隊」の地域への派遣：11回 ・「子育てふれあいサークル大・集・合！」の開催：1回 ・「ひがしなりっ子すくすくつながるランド（旧子育てフォーラム）」の開催：1回 ・「子育てフェスタ」の開催：2回 ・「ひがしなりっ子 すくすくつながるうんどうかい」の開催：1回 ・子育ての「専門分野別実務者会議」の開催：4回 ・各子育てイベントに対する満足度：95%以上（イベント参加者アンケート）			
	業績目標の達成状況		改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	身近な地域で気軽に子育ての相談ができると感じる子育て中の区民の割合：85%	① (i)		
自己評価	①：目標達成（i）取組は予定どおり実施（ii）取組を予定どおり実施しなかった ②：目標未達成（i）取組は予定どおり実施（ii）取組を予定どおり実施しなかった ③：撤退基準未達成			
	戦略に対する取組の有効性	○	○：有効 ×：有効でないため見直す —：中間アウトカム未設定（未測定）	

具体的取組2-2-2

【子育てにかかる情報提供の充実】

		26決算額	131千 円	27予算額	222千 円	28予算額	83千 円
計画	取組内容			業績目標（中間アウトカム）			
	子育て世帯が必要とする情報発信を行う。 ・乳幼児健診、子育て支援機関等でのアンケート調査の実施：8回 ・facebookによる情報発信 ・「子育て応援隊」による編集会議の開催：2回 ・子育てに役立つ情報誌の発行：1回			・区役所からの子育て情報が充実していると感じる区民の割合：60% 【撤退基準】 ・上記目標が40%未満の場合は事業を再構築する。 前年度までの実績 平成27年度実績 ・facebookによる情報発信：週平均3回 ・子育て情報誌の発行：1回			
中間振り返り	業績目標の達成状況		① (i)	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須			
	①：目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②：目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③：撤退基準未達成 戦略に対する取組の有効性		—	—			
自己評価	取組実績			課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須			
	・アンケートの実施：4回(子育て支援施設で4回行う予定であったがイベント開催時にアンケートを実施したので、対象者が重なる為、実施しなかった) ・Facebookによる情報発信：269回(4月から3月末)週平均5.6回 ・「子育て応援隊」による編集会議の開催：2回 ・子育てに役立つ情報リーフレットの発行：1回(12月発行)			—			
	業績目標の達成状況						
自己評価	子育て情報が充実していると感じる人の割合：81% (イベント開催時と乳幼児健診時に実施したアンケートの結果)		① (i)	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須			
	①：目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②：目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③：撤退基準未達成			—			
	戦略に対する取組の有効性		○	—			

具体的取組2-2-3

【保育所待機児童の解消】

		26決算額	— 円	27予算額	— 円	28予算額	— 円
計画	取組内容			業績目標（中間アウトカム）			
	子育て世帯の要望等を聞き、保育所（園）へ働きかける。 ・保育所長会への訪問 ・民間園長会への訪問 ・一斉入所選考時に各園を訪問			・保育所待機児童数：0人（平成29年4月1日時点） 【撤退基準】 ・上記目標が10名を超える場合は取組みを再構築する。			
				前年度までの実績			
				平成27年度実績 ・平成28年4月1日時点 待機児童：0人			
中間振り返り	業績目標の達成状況		① (i)	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須			
	①：目標達成（見込）（i）取組は予定どおり進捗（ii）取組は予定どおり進捗していない ②：目標未達成（見込）（i）取組は予定どおり進捗（ii）取組は予定どおり進捗していない ③：撤退基準未達成			—			
	戦略に対する取組の有効性		○	○：有効 ×：有効でないため取組を見直す —：中間アウトカム未設定（未測定）			
自己評価	取組実績			課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須			
	保育所長の会議や民間園長会、一斉入所選考時の各園への訪問を通じて働きかけを実施			—			
	業績目標の達成状況						
	保育所待機児童数：0人（平成29年4月1日時点）		① (i)	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須			
①：目標達成（i）取組は予定どおり実施（ii）取組を予定どおり実施しなかった ②：目標未達成（i）取組は予定どおり実施（ii）取組を予定どおり実施しなかった ③：撤退基準未達成			—				
戦略に対する取組の有効性		○	○：有効 ×：有効でないため見直す —：中間アウトカム未設定（未測定）				

めざすべき将来像（最終的なめざす状態）＜概ね10～20年間で念頭に設定＞

＜地域福祉の充実＞

・地域における支え合いが充実し、区民が住み慣れた地域で安心して生活できる状態

＜健康づくりの推進＞

・区民が健やかな生活習慣を送りながら、健康寿命の延伸に向けて健康づくりや病気の予防などに取り組んでいる状態

現状（課題設定の根拠となる現状・データ）

＜地域福祉の充実＞

・おまもりネット登録者数：3,304件（平成27年3月末）[+444人]
3,641件（平成27年9月末）[4月1日～9月末の新規登録者数+337件]

・地域での福祉に関する活動をしたい区民の割合：46.7%
・地域での福祉に関する活動をしたことがない区民の割合：65.9%
・福祉に関する活動に参加しやすくするために必要なことについて
（最も多かった回答（複数回答））活動に関するさまざまな情報提供の充実：71.6%

【平成25年度区民モニター】

・地域や東成区における地域福祉の取組みについての満足度：66.7%[+35ポイント]

【平成26年度区民モニター】

＜健康づくりの推進＞

・健康寿命（平成22年・男/女）国（78.2/83.2）、市（76.1/81.9）、区（78.0/83.2）

・平均寿命（平成22年・男/女）国（79.6/86.4）、市（77.7/85.4）、区（79.6/86.6）

【平成22年健康寿命】

・区民の死亡要因は生活習慣病が約60%、内がんの死亡割合が32.4%

【平成23年人口動態】

・疾病予防のために健康診断などを受けている区民の割合：83%

・受けたことのあるものは？

1位 特定健康診査（47%）、2位 がん検診（病院・診療所・区保健センター）（33%）、3位 人間ドック（10%）

【平成27年度 区民モニター】 []は前年度比較

東成区の65歳以上人口割合の推移



※65歳以上高齢者人口：20,235人
（平成26年10月1日現在推計人口）

計

画

要因分析（現状・データから導かれる分析結果）＜めざすべき将来像と現状に差が生じる要因＞

＜地域福祉の充実＞

・めざすべき将来像の実現のためには、多くの区民をはじめ民間事業者や専門機関等が参画・連携していく必要がある。しかし「地域での福祉に関する活動をしたことがない区民の割合」が65.9%であり、関心があるものの行動にはつながっていない。「福祉に関する活動に参加しやすくするために必要なこと」では、「情報提供の充実」という意見が7割を超え最も多いことから、地域福祉活動への参加を促すには、情報発信や啓発が有効であると考えられる。

・また、「おまもりネット事業」をはじめとした地域福祉の取り組みを広く周知し、地域での支え合いの活動につなげていく必要がある。とりわけ、「おまもりネット」については一定の周知を行い登録者数は3,641件となっているが、今後の高齢者人口の増加などを考慮すると引き続き事業周知が必要である。

＜健康づくりの推進＞

・東成区民の平均寿命や健康寿命は、男女ともに大阪市平均を上回り、概ね国の平均と同水準となっている。

・健康寿命を延伸するためには、生活習慣病の予防や疾病の早期発見・早期治療が重要な要素である。区民の約83%の方が疾病予防のために健康診断などを受診している。

・区民の死亡要因では、がんの死亡が大きな割合を占めている。がん検診の受診率を高めることは健康寿命の延伸に有効であると考えられる。

課題＜上記要因を解消するために必要なこと＞

＜地域福祉の充実＞

・「おまもりネット事業」をはじめとした地域福祉活動を効果的に推進していくためには、より情報発信を充実し、地域でのつながりの拡大を図る必要がある。また、多様なニーズに対応し活動を効果的かつ円滑に推進するためには、地域活動の担い手の拡大を図るとともに、関係者による議論の充実を図る必要がある。

・区民の地域福祉に対する関心を高めていくために、継続的かつ効果的な啓発を実施していく必要がある。

＜健康づくりの推進＞

・健康寿命の延伸に向けて、区民一人ひとりが健康づくりに関心を持ち、食生活の改善や運動、生活習慣病の予防等に取り組んでもらう必要がある。

・感染症予防には、抵抗力が弱く集団発生となりやすい年齢層を中心に、予防に関する啓発を推進する必要がある。

戦略の進捗状況を踏まえた経営課題全体としての評価結果の総括

・「おまもりネット事業」については、区役所で相談・説明会を開催するなど、新たな取り組みを実施し、新規登録者数が業績目標を上回った。緊急時安否確認（かぎ預かり）事業といった新たな取り組みも加え、引き続き、地域や関係機関と一層連携し、より重層的なセーフティネットを構築するために取り組んでいく。

・健康寿命の延伸に向けては、区民の主体的・継続的な健康づくりが重要であり、身近な地域での啓発活動や情報提供に取り組むことにより、健康づくりへの行動変容意向を高めることができた。平成28年度から全市民的百歳体操の啓発、実施支援が行われており、当区においても実施した結果、百歳体操を開始した地域が6地域に広がった。

また、がん検診の受診率については、乳幼児健診等で保護者へ健診の案内をするなど、効果的な広報啓発に努めた。さらに、感染症予防についても計画的に啓発を行うことで感染症予防を理解し、予防行動がとれるようになった。

自己評価

めざす成果及び戦略 3-1 【要支援者セーフティネットの構築】

計画	めざす状態＜概ね3～5年間で念頭に設定＞		戦略＜中期的な取組の方向性＞	
	- 多様な主体の連携による地域福祉が進められている状態 - 住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けられる状態		- 地域の実情や要支援者のニーズに応じた地域福祉の取り組みの充実を図る。 - 地域福祉に関する情報発信や啓発を行う。 - 地域の関係団体や専門機関等の連携により、地域福祉課題の解決に向けた検討を行い、取り組みの充実につなげる。 - 在宅療養を支えるため、医療・介護・福祉等が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築に寄与する。	
自己評価	アウトカム＜めざす状態を数値化した指標＞		課題 ※有効性が「イ」の場合は必須	
	地域福祉の取組みに満足している区民の割合：平成29年度末までに70%以上		アウトカムの達成状況を示す数値は昨年度より低い水準にとどまったので、今後も地域福祉の推進に取り組んでいくとともに、普段地域福祉と関わり合いのない人たちをも含んだ啓発に取り組んでいく必要がある。	
自己評価	地域福祉の取組みが充実してきていると感じる区民の割合：51%（区民アンケート）		今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須	
	前年度 65% 個別 A 全体 A		引き続き地域福祉にかかる事業を推進するとともに、区広報紙等でより多くの区民へ啓発を行っていく。	
自己評価	戦略の進捗状況		A: 順調 B: 順調でない	
	a: 順調 b: 順調でない			

具体的取組 3-1-1

【地域における支え合いの充実-おまもりネット事業の推進-】

26決算額 22,944千円 27予算額 31,189千円 28予算額 22,084千円

計画	取組内容		業績目標（中間アウトカム）	
	「おまもりネット事業」をはじめとした地域福祉活動を推進するとともに、要支援者の個別支援のためのコーディネートをを行う。 - 地域福祉活動サポーターの配置：11地域 「おまもりネット事業」の周知：約1,400人（65歳到達者） - 地域福祉活動の推進：11地域		おまもりネットへの新規登録者数：350人	
中間振り返り	①：目標達成（見込）（i）取組は予定どおり進捗（ii）取組は予定どおり進捗していない ②：目標未達成（見込）（i）取組は予定どおり進捗（ii）取組は予定どおり進捗していない ③：撤退基準未達成		【撤退基準】 ・上記目標が140人未満であれば事業を再構築する。	
	戦略に対する取組の有効性		前年度までの実績 平成27年度実績 ・おまもりネット登録者数4,050人（平成28年3月末時点）	
自己評価	業績目標の達成状況		課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	①：目標達成（見込）（i）取組は予定どおり進捗（ii）取組は予定どおり進捗していない ②：目標未達成（見込）（i）取組は予定どおり進捗（ii）取組は予定どおり進捗していない ③：撤退基準未達成		—	
自己評価	取組実績		課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	- 地域福祉活動サポーターの配置：11地域 - おまもりネット事業の周知：1,108人（65歳到達者） - 区役所1階ふれあいパジャマにて、おまもりネット事業の相談・説明会開催（9回）		—	
自己評価	業績目標の達成状況		改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	今年度の新規登録者数：576人		—	
自己評価	①：目標達成（i）取組は予定どおり実施（ii）取組を予定どおり実施しなかった ②：目標未達成（i）取組は予定どおり実施（ii）取組を予定どおり実施しなかった ③：撤退基準未達成		—	
	戦略に対する取組の有効性		O: 有効 ×: 有効でないため見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定)	

具体的取組3-1-2

【在宅医療・在宅療養の環境整備】

26決算額		—	円	27予算額	6,479千	円	28予算額	—	円
計画	取組内容				業績目標（中間アウトカム）				
	多職種や地域、区民の連携促進に努めるとともに、身近な地域での区民等関係者への普及啓発を進める。 ・多職種、地域、区民への普及啓発 ・在宅療養にかかる情報発信				・在宅医療・在宅療養について知っている区民の割合：60%以上 【撤退基準】 ・上記目標が40%未満の場合は事業を再構築する。				
					前年度までの実績 平成27年度実績 ・普及啓発：講演会1回、多職種連携研修会2回、 メディカルカフェ4回 ・地域の拠点づくり支援のため補助金の交付：3件				
中間振り返り	業績目標の達成状況		① (i)	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須					
	①：目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②：目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③：撤退基準未達成			—					
	戦略に対する取組の有効性		—						
自己評価	取組実績				課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須				
	・在宅医療・介護連携推進会議(1回) ・在宅医療・介護連携推進実務者会議(3回)、ワーキング会議(8回) ・多職種連携会(平成29年1月) ・区広報紙への啓発記事の掲載(平成28年12月) ・普及啓発用リーフレットの発行(平成29年2月)				在宅医療の認知度について、言葉のみご存知いただいている方を含めると85%に達し、目標は概ね達成できたと考えられる。しかし、今年度は広報紙やリーフレットを活用し、在宅医療の概要など基本的な内容を中心に啓発を行ったため、今後は在宅医療について詳しく知っていただくための広報・啓発が必要。				
	業績目標の達成状況				改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須				
	在宅医療について知っている区民の割合：56%				② (i)	在宅医療の内容を詳しく伝えていくため、広報紙やリーフレットによる啓発に加え、地域の集いの場などを活用した身近な場所での啓発を検討する。			
	①：目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②：目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③：撤退基準未達成								
	戦略に対する取組の有効性		○	○：有効 ×：有効でないため見直す —：中間アウトカム未設定(未測定)					

めざす成果及び戦略 3-2 【健康づくりの推進】

計画	めざす状態＜概ね3～5年間で念頭に設定＞		戦略＜中期的な取組の方向性＞	
	・区民一人ひとりが健康づくりに関心を持ち、生活習慣の改善や検診、病気の予防等に取り組んでいる状態 ・区民が感染症予防に対する知識を持ち、正しい予防行動がされている状態		・医師会等の関係機関と連携を強化するとともに、食生活の改善や運動の実践など、区民や地域が主体的に健康づくりや病気の予防等、健康寿命の延伸に向けた取り組みを推進する。 ・感染症予防の基本である手洗いや消毒について、子どもや高齢者を対象に正しい知識の普及を行う。	
自己評価	アウトカム＜めざす状態を数値化した指標＞			
	・健康づくりに関する態度変容者の意向割合：平成28年度までに70%以上 ・がん検診の受診率、大阪市目標値 ・感染症予防の理解度、予防行動がとれる割合：平成28年度までに70%以上			
	戦略のアウトカムに対する有効性	ア	ア：有効であり、継続して推進 イ：有効でないため、戦略を見直す	
	アウトカムの達成状況		前年度	個別 全体
自己評価	健康づくりに関する態度変容の意向割合：89.7%		83%	A
	感染症予防に関する理解度・予防行動がとれる割合：100%		80%	A
			A：順調 B：順調でない	
	戦略の進捗状況	a	a：順調 b：順調でない	
課題 ※有効性が「イ」の場合は必須			-	
今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須			-	

具体的取組3-2-1 【健康づくりへの意識の向上】

		26決算額	591千 円	27予算額	923千 円	28予算額	733千 円
計 画	取組内容			業績目標（中間アウトカム）			
	健康寿命を延伸するため、区民や地域が主体的に健康づくりに取り組めるよう啓発活動を行う。 ・保健師が地域に出向く健康教室の開催：100回 ・健康づくりの視点から食育に関する情報発信 ・健康づくり講演会の開催：1回 ・「健康展」・「歯の健康展」への協力 ・健康づくりの「専門分野別実務者会議」の開催：4回			・自分の健康に関心を持ち行動しようと考えた区民の割合：70%以上 【撤退基準】 ・上記目標が50%未満の場合は、事業を再構築する。 前年度までの実績 平成27年度実績 ・保健師が地域に出向く健康教室の開催：93回 ・「夏得健康フェスタ」の開催：1回 ・「健康展」・「歯の健康展」への協力：各1回 ・健康づくりの「専門分野別実務者会議」の開催：4回			
中 間 振 り 返 り	業績目標の達成状況		① (i)	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須			
	①：目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②：目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③：撤退基準未達成		—				
自 己 評 価	戦略に対する取組の有効性		—	○：有効 ×：有効でないため取組を見直す —：中間アウトカム未設定(未測定)			
	取組実績		課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須				
自 己 評 価	・保健師が地域に出向く健康教室の開催：128回 ・健康づくりの視点から食育に関する情報発信 ・健康づくり講演会「知ってまっか？いきいき百歳体操」：1回 ・「健康展」・「歯の健康展」への協力 ・健康づくりの「専門分野別実務者会議」の開催：4回		—				
	業績目標の達成状況		改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須				
自 己 評 価	健康づくりに関する態度変容の意向割合：89.7%		① (i)	—			
	①：目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②：目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③：撤退基準未達成		—				
自 己 評 価	戦略に対する取組の有効性		○	○：有効 ×：有効でないため見直す —：中間アウトカム未設定(未測定)			

具体的取組3-2-2

【感染症予防対策】

		26決算額	229千 円	27予算額	224千 円	28予算額	59千 円
計画	取組内容			業績目標（中間アウトカム）			
	「ひがしなり手洗いキュッキュッキュの歌」を活用し、正しい手洗 い方法の啓発を行う。 ・高齢者施設での手洗い教室の開催：6回			・正しい手洗い方法について理解した手洗い教室の参加者の 割合：70%以上 【撤退基準】 ・上記目標が50%未満の場合は事業を再構築する。			
				前年度までの実績			
				平成27年度実績 ・手洗い教室の開催：16回			
中間振り返り	業績目標の達成状況		① (i)	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須			
	①：目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②：目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③：撤退基準未達成		—				
	戦略に対する取組の有効性						
自己評価	取組実績			課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須			
	高齢者が集まる閉じこもり予防教室・いきいき百歳体操・ふれあい喫茶や 老人福祉センターなど計8か所で8回手洗い教室を実施した。						
	業績目標の達成状況						
	正しい手洗いを継続していこうと思いますかという聞き取りアンケートでは「大変そう思う」62%、「そう思う」38%との回答。		① (i)	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須			
①：目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②：目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③：撤退基準未達成							
戦略に対する取組の有効性							

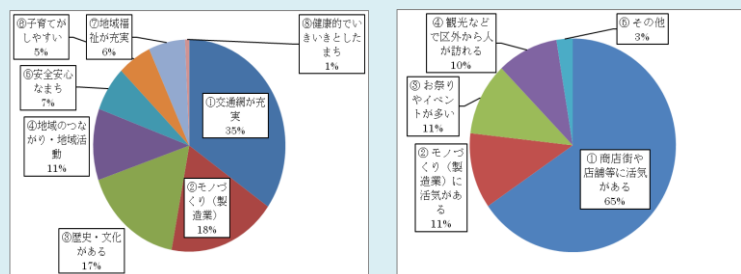
めざすべき将来像（最終的なめざす状態）＜概ね10～20年を念頭に設定＞

- ・様々な活動主体が互いに理解し信頼し合いながら協働する豊かなコミュニティとなっている。これらの活動主体が行政と協働して地域課題に取り組んでいる状態
- ・東成区のまちに魅力やにぎわい、活気があり、区民が愛着を持って暮らしている状態

現状（課題設定の根拠となる現状・データ）

- ・まちづくり活動に参加したいと思う区民の割合：73.5% [+4.5ポイント]
- ・まちづくり活動に取り組んだことのある区民の割合：24.8% [前年度比+0.2ポイント]
- ・地域活動を始めたいときにどうすればいいかなど地域活動に参画しやすい環境が整っていると感じている区民の割合：32% [-2.3ポイント]
- ・地域のまちづくりに関する活動が地域団体やNPO、企業など多様な活動主体の連携・協働により進められていると感じている区民の割合：24% [-2.7ポイント]

【平成26年度区民モニター】〔〕は前年度比較



東成区の「まちの魅力」とは？
【平成26年度区民モニター】

「にぎわいのあるまち」とは？
【平成27年度区民モニター】

要因分析（現状・データから導かれる分析結果）＜めざすべき将来像と現状に差が生じる要因＞

- ・東成区では、地域コミュニティの活動が活発なまちである。しかし、活動者の高齢化・固定化がみられる。
- ・地域コミュニティを活性化させ、複雑多様化する地域課題の解決には、地域課題や資源等をよく知っている地域団体等や市民、NPO、企業等の活動主体と行政が協働して取り組むことが大切である。しかし、地域活動に参画しやすい環境が整っていると感じている方や、多様な活動主体の協働が進んでいると感じる方は、少ない状況である。
- ・東成区の「まちの魅力」についてのアンケートでは、「交通の利便性」が最も多く、続いて「モノづくり」、「歴史・文化」の順であった。また、「にぎわいのあるまち」についてのアンケートでは、「商店街や店舗等に活気がある」が最も多く、続いて「モノづくり」、「お祭りやイベント」という結果であった。

課題＜上記要因を解消するために必要なこと＞

- ・より多くの区民が地域活動へ参加・参画できるよう、地域や取り組みの情報が広く発信されるとともに、一層の開かれた地域コミュニティづくりを進める必要がある。
- ・東成区のまちの魅力を高め、にぎわいのあるまちづくりを推進するためには、東成区の特徴であるモノづくりや商店街、お祭り・イベント等をPRし、より活性化する必要がある。

戦略の進捗状況を踏まえた経営課題全体としての評価結果の総括

- ・地域活動の情報発信や交流の場の提供などにより、区民主体のまちづくりを推進した。
- ・区の地域資源を活用し、多様な活動主体と地域をつなげていくイベント「ひがしなり街道玉手箱」では、実行委員会規約の制定や区役所と実行委員会との協定書の締結など、将来的に自立ができる仕組みづくりを行った。平成28年度で5年目を迎え、区内外における認知度も徐々に大きくなってきており、より多くの活動主体に主体的・自律的に参加してもらえるよう、さらに取り組む。
- ・東成区住工共存まちづくり懇談会と協働により、「わが町工場見てみ隊」や「東成こどもモノづくり体験フェスタ」を実施し、区の地域資源であるモノづくりの魅力を次世代を担う子どもたちに伝えることができた。また、区民とともにまち歩きを実施し、モノづくりのみならず、区内の地域資源を再発見・再発掘することができた。今後も、区民や多様な活動主体と協働しながら、東成区の魅力を区内外に発信することで、地域に対する誇りや愛着心の醸成を図り、地域の活性化につなげていく。

めざす成果及び戦略 4-1 【区民主体のまちづくりの支援】

計画	めざす状態＜概ね3～5年間で念頭に設定＞		戦略＜中期的な取組の方向性＞	
	・様々な活動主体が地域活動に参画し、地域課題に取り組んでいる状態 アウトカム＜めざす状態を数値化した指標＞ ・地域の中でつながりを実感している区民の割合：H29年度までに50%以上 ・中間支援組織から支援を受けていると感じている活動主体の割合：H29年度までに50%以上		・地域において、様々な活動主体が参画し、地域特性を活かした地域活動が行われるよう、地域活動協議会への支援を行う。 ・自律的な地域運営を行うことができるように、中間支援組織を活用しての専門的なアドバイスや情報発信、交流の場等の提供を行う。	
自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性	ア	ア：有効であり、継続して推進 イ：有効でないため、戦略を見直す	
	アウトカムの達成状況		前年度	個別
	地域の中でつながりを実感している区民の割合：19%		15%	A
	中間支援組織から支援を受けていると感じている活動主体の割合：64%		64%	A
	A：順調 B：順調でない		—	
	戦略の進捗状況	a	a：順調 b：順調でない	

具体的取組 4-1-1 【地域活動協議会に対する支援】

26決算額 16,532千 円 27予算額 17,500千 円 28予算額 17,500千 円

計画	取組内容		業績目標（中間アウトカム）	
	地域活動協議会に対する支援を行うとともに、地域情報の発信、交流会等を開催する。 ・地域の会議や事業への参加 ・勉強会・交流会の開催 ・会計の透明性の確保に向けた取り組み：11地域 ・広報紙への地域情報の掲載：12回		・地域活動協議会による地域運営のあり方に満足している区民の割合：60% 【撤退基準】 ・上記目標が30%未満であれば事業を再構築する。	
中間振り返り	業績目標の達成状況		課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	①：目標達成（見込）（i）取組は予定どおり進捗（ii）取組は予定どおり進捗していない ②：目標未達成（見込）（i）取組は予定どおり進捗（ii）取組は予定どおり進捗していない ③：撤退基準未達成		—	
	戦略に対する取組の有効性		○：有効 ×：有効でないため取組を見直す —：中間アウトカム未設定（未測定）	
	—		—	
自己評価	取組実績		課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	・地域の会議や事業への参加：679回 ・勉強会・交流会の開催：13回 ・補助金の使途の公表：11地域 ・広報紙への地域情報の掲載：13回		—	
	業績目標の達成状況		改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	地域活動協議会による地域運営のあり方に満足している区民の割合：71% ①：目標達成（i）取組は予定どおり実施（ii）取組を予定どおり実施しなかった ②：目標未達成（i）取組は予定どおり実施（ii）取組を予定どおり実施しなかった ③：撤退基準未達成		—	
	戦略に対する取組の有効性		○：有効 ×：有効でないため見直す —：中間アウトカム未設定（未測定）	
	○		—	

めざす成果及び戦略 4-2 【多様な協働による地域活動の活性化】

計画	めざす状態＜概ね3～5年間で念頭に設定＞		戦略＜中期的な取組の方向性＞	
	・様々な活動主体と区役所が協働により、地域資源を活用してにぎわいや活気のあるまちづくりが進められている状態		・新たな担い手を発掘するため、ふれ愛パンジーの活用やイベントの開催を通じて、様々な活動主体が交流できる機会や場の提供を行う。 ・東成区の魅力を高めるため、地域の特性を調査し、地域資源を活用し、にぎわいや活気の創造に取り組む。	
計画	アウトカム＜めざす状態を数値化した指標＞			
	・様々な活動主体の連携・協働によりまちづくりが進められていると感じている区民の割合：H29年度までに50%以上			
自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性	ア	課題 ※有効性が「イ」の場合は必須	
	アウトカムの達成状況			
	校区等地域を越えたまちづくりに関する活動が、地域活動協議会をはじめ地域団体や市民、NPO、企業など様々な活動主体の連携・協働により進められていると感じている区民の割合：27%（区民アンケート）	前年度	個別	全体
		28%	B	B
戦略の進捗状況		b	今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須	
		a: 順調 b: 順調でない	—	

具体的取組 4-2-1 【多様な協働による地域活動の活性化】

		26決算額	1,749千円	27予算額	1,590千円	28予算額	1,447千円
計画	取組内容	業績目標（中間アウトカム）					
	区の地域資源を活用し多様な活動主体と地域がつながる「ひがしなり街道玉手箱」を開催する。 ・運営事務局会議の開催：月3～4回 ・参加団体交流会の開催：6回	・ひがしなり街道玉手箱の協賛者（タマテバコタウン会員）数：150会員 【撤退基準】 ・上記目標が80会員を下回る場合は事業を再構築する。 前年度までの実績 平成27年度実績 ・運営事務局会議の開催：42回 ・実行委員会の開催：6回					
中間振り返り	業績目標の達成状況	① (i)	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須				
	①：目標達成（見込）（i）取組は予定どおり進捗（ii）取組は予定どおり進捗していない ②：目標未達成（見込）（i）取組は予定どおり進捗（ii）取組は予定どおり進捗していない ③：撤退基準未達成		—				
	戦略に対する取組の有効性	—	○：有効 ×：有効でないため取組を見直す —：中間アウトカム未設定（未測定）				
自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須				「ひがしなり街道玉手箱実行委員会」規約の制定や、東成区役所との協定書の締結など、「ひがしなり街道玉手箱実行委員会」が将来的に自立していくために必要な仕組みづくりはできた。 今後は、多様な活動主体が主体的・自律的に「ひがしなり街道玉手箱」に関わることで、まちづくりなどの地域活動に貢献していけるような支援が必要。	
	・ひがしなり街道玉手箱の実施（11月3～6日：4日間） ・ひがしなり街道玉手箱にかかる広報物の作成（ポスターなど） ・運営事務局会議の開催：38回 ・参加団体交流会の開催：6回						
	業績目標の達成状況	② (i)	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須				運営事務局会議にかかる支援を継続しつつも、多様な活動主体が「ひがしなり街道玉手箱」を通して、地域とつながることができるよう、参加団体交流会などの支援をより進めていく。
	・ひがしなり街道玉手箱の協賛者（タマテバコタウン会員および協賛者含む）数：119会員						
	①：目標達成（i）取組は予定どおり実施（ii）取組を予定どおり実施しなかった ②：目標未達成（i）取組は予定どおり実施（ii）取組を予定どおり実施しなかった ③：撤退基準未達成						
	戦略に対する取組の有効性	○	○：有効 ×：有効でないため見直す —：中間アウトカム未設定（未測定）				

具体的取組4-2-2

【市民活動団体等との協働による課題解決】

26決算額		— 円	27予算額	2,050千 円	28予算額	1,050千 円
計画	取組内容		業績目標（中間アウトカム）			
	地域課題の解決について市民活動団体等から提案をしてもらい、協働により取り組む「公募型提案委託」を実施する。 ・区の設定するテーマに基づく事業の公募：1回		・協働型事業委託によって地域課題等の解決の手法が確立した事業数：1事業			
			【撤退基準】 ・上記目標が1件もない場合は事業を再構築する。			
			前年度までの実績 平成27年度実績 ・2件			
中間振り返り	業績目標の達成状況	① (i)	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須			
	①：目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②：目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③：撤退基準未達成		—			
	戦略に対する取組の有効性	—	○：有効 ×：有効でないため取組を見直す —：中間アウトカム未設定(未測定)			
自己評価	取組実績		課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須			
	公募型提案委託事業件数：1件「私たちの街、東成もり上げ隊」事業(子育て応援サロンの開催：2回、子育てが楽しくなるキラキラ講座の開催：3回、おもちゃ博士とつくってあそぼ！の開催：1回)		—			
	業績目標の達成状況		改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須			
	・協働型事業委託によって地域課題等の解決の手法が確立した事業数：1事業		① (i)			
	①：目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②：目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③：撤退基準未達成		—			
戦略に対する取組の有効性		○	○：有効 ×：有効でないため見直す —：中間アウトカム未設定(未測定)			

具体的取組4-2-3

【ふれ愛パンジーまちづくり活動支援事業(東成区市民活動推進助成)】

26決算額		1,383千 円	27予算額	1,050千 円	28予算額	550千 円
計画	取組内容		業績目標（中間アウトカム）			
	ふれ愛パンジーを活用し、東成区のまちづくりが活性化する市民活動に対して助成を行う。 ・補助事業の募集：1回		・当補助金を活用する市民活動団体等の事業：1事業			
			【撤退基準】 ・上記目標が1事業もない場合は事業を再構築する。			
			前年度までの実績 平成27年度実績 ・2事業			
中間振り返り	業績目標の達成状況	① (i)	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須			
	①：目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②：目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③：撤退基準未達成		—			
	戦略に対する取組の有効性	○	○：有効 ×：有効でないため取組を見直す —：中間アウトカム未設定(未測定)			
自己評価	取組実績		課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須			
	ふれ愛パンジーまちづくり活動支援事業補助金交付件数：1件(ひがしなり古典芸能サロンの開催：4回、ひがしなり古典芸能大会の開催：1回)		—			
	業績目標の達成状況		改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須			
	・当補助金を活用する市民活動団体等の事業：1事業		① (i)			
	①：目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②：目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③：撤退基準未達成		—			
戦略に対する取組の有効性		○	○：有効 ×：有効でないため見直す —：中間アウトカム未設定(未測定)			

具体的取組4-2-4

【「東成区の地域資源」魅力発信事業】

		26決算額	663千 円	27予算額	1,569千 円	28予算額	1,530千 円
計画	取組内容			業績目標（中間アウトカム）			
	区の特徴である「モノづくり」を通じて、次世代を担う人材育成に取り組む。 ・「わが町工場見てみ隊」（工場見学会）の開催：2回 ・「モノづくり体験フェスタ」の開催：1回			・東成区がモノづくりのまちであるということを知っている区民の割合：50%以上 【撤退基準】 ・上記目標が30%以下の場合は事業を再構築する。			
				前年度までの実績			
				平成27年度実績 ・「わが町工場見てみ隊」の開催：2回 ・「モノづくり体験フェスタ」の開催：1回 ・WEBサイト「東成ファクトリーツアーへようこそ」の開設			
中間振り返り	業績目標の達成状況		① (i)	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須			
	①：目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②：目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③：撤退基準未達成		—				
	戦略に対する取組の有効性		—	○：有効 ×：有効でないため取組を見直す —：中間アウトカム未設定(未測定)			
自己評価	取組実績			課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須			
	・「わが町工場見てみ隊」（工場見学会）の開催：2回 ・「モノづくり体験フェスタ」の開催：1回			—			
	業績目標の達成状況			改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須			
	東成区がモノづくりのまちであることを知っている区民の割合：50% ①：目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②：目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③：撤退基準未達成			平成28年度、ケーブルテレビJ:COMに東成区のモノづくりを取り上げていただくなど、新たな広報手段を得ることができた。今後とも、色々な媒体を通じて情報発信に努め、認知度を高めていきたい。			
戦略に対する取組の有効性			○	○：有効 ×：有効でないため見直す —：中間アウトカム未設定(未測定)			

具体的取組4-2-5

【区のにぎわい創出に向けた取り組みの強化】

		26決算額	- 円	27予算額	- 円	28予算額	- 円
計画	取組内容			業績目標（中間アウトカム）			
	地域資源を活用したまち歩き等を企画し、区のにぎわいづくりや集客の強化を図る。 ・区民との協働によるまち歩きの実施：1回			・地域の特性について理解が深まったと感じる参加者の割合：60%以上 【撤退基準】 ・上記目標が40%未満であれば事業を再構築する。			
				前年度までの実績			
				平成28年度新規事業			
中間振り返り	業績目標の達成状況		① (i)	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須			
	①：目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②：目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③：撤退基準未達成		—				
	戦略に対する取組の有効性		—	○：有効 ×：有効でないため取組を見直す —：中間アウトカム未設定(未測定)			
自己評価	取組実績			課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須			
	・区民との協働によるまち歩き(深江探訪)の実施：1回			—			
	業績目標の達成状況			改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須			
	「まち歩き(深江探訪)」を通じて地域の特性について理解が深まった参加者の割合：100% ①：目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②：目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③：撤退基準未達成			—			
戦略に対する取組の有効性			○	○：有効 ×：有効でないため見直す —：中間アウトカム未設定(未測定)			

計 画	めざすべき将来像（最終的なめざす状態）＜概ね10～20年間で念頭に設定＞
	・区政に関するわかりやすい情報が広く区民に届けられるとともに、区民の多様な意見や要望などが的確に区役所に届き、区民の区政運営に対する満足度が高い状態。 ・職員がやりがいを感じ、業務に最善を尽くすことで効率的な業務運営が行われ、区民サービスの向上が図られている状態。
	現状（課題設定の根拠となる現状・データ）
	・区のさまざまな取り組みに関する情報が伝えられていると感じる区民の割合：33.9%[+6.7ポイント] ・区のさまざまな取り組みについて、区民から評価を受けるような工夫をしていると思う区民の割合：15.0%[+7.2ポイント] ・区役所が区政運営について区民の意見や要望を聞くような工夫をしていると思う区民の割合：18.0%[+8.2ポイント] ・区役所での来庁者への案内サービスや窓口での対応が以前に比べてよくなったと感じる区民の割合：71.1%[+4.7ポイント] 【平成26年度 各区に共通する区政運営に関する事項についてのアンケート】[]は前年度比較 ・職員同士の協力・連携がとれている職場と感じる職員の割合：64.3%[-1.6ポイント] ・仕事にやりがいを感じる職員の割合：75.5%[+5.0ポイント] 【平成26年度 市政改革に関する職員アンケート】[]は前年度比較
	要因分析（現状・データから導かれる分析結果）＜めざすべき将来像と現状に差が生じる要因＞
自 己 評 価	・区民の多様な意見や要望、評価などが区役所に届いていると感じている区民の割合や、区の取り組みに関する情報が届いていると感じている区民の割合は、年々増加傾向にあるものの、水準としてはまだまだ低いと考えられる。 ・区役所のサービスや対応が良くなっていると感じる区民の割合は増加傾向にあり、比較的高い水準にある。 ・仕事にやりがいを感じる職員は多いものの、職員同士の協力・連携についてはより改善の余地がある。
	課題＜上記要因を解消するために必要なこと＞
自 己 評 価	・区民の多様な意見や要望を把握し、区政に反映する取り組みを進める必要がある。また、区政に関する情報をより多くの人に届けるために効果的な情報発信が必要である。 ・来庁者の声を改善に活かし、区民が利用しやすい区役所とする必要がある。 ・職員が仕事にやりがいを感じ、職員間での意思疎通が十分に図られる風通しの良い職場環境をつくる必要がある。
	戦略の進捗状況を踏まえた経営課題全体としての評価結果の総括
自 己 評 価	・各地域や各種団体の会議への参加を通じて、区民の多様な意見やニーズの収集に努めるとともに、区政会議を開催し区民の声を区政運営に反映するよう努めた。また、わかりやすく読みやすい広報紙づくりを心掛け、区内全世帯、全事業所へ配布するとともに、ホームページやツイッターなど様々な広報媒体を用いて区政情報の発信に努めた。 ・若手職員による区民サービス向上プロジェクトチーム会議を開催し、職員の気づきを積極的に取り入れ、職員がやりがいを感じて自ら積極的に業務に取り組めるよう機運の醸成を図った。

めざす成果及び戦略 5-1 【透明性と納得性の高い区政運営の推進】

計画	めざす状態＜概ね3～5年間を念頭に設定＞		戦略＜中期的な取組の方向性＞	
	・区民の意見やニーズを把握し、区民が区政運営に参画・評価する仕組みが進んでいる状態		・区政会議や区民モニター等の方法により多様な区民の意見やニーズを把握し、区政運営の参考として活用する。	
計画	アウトカム＜めざす状態を数値化した指標＞			
	・区民の多様な意見等が区役所に届いていると感じる区民の割合：平成29年度末までに80%以上			
自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性	ア	課題 ※有効性が「イ」の場合は必須 区政会議や区民アンケートを通じて、区民の多様な意見等が区役所に届いていると感じる区民の割合が着実に増加してきているものの、アウトカムを達成するためにはより一層区民に実感してもらえるよう工夫が必要である。	
	アウトカムの達成状況		前年度	個別 全体
	区民の多様な意見等が区役所に届いていると感じる区民の割合 34% (区政運営に関するアンケート)		32%	A A
			A: 順調 B: 順調でない	
自己評価	戦略の進捗状況	a	課題 ※有効性が「イ」の場合は必須 広報紙やホームページを活用して区民の声がどのように区政に活かされているかをわかりやすく広報することにより、区民に実感してもらう。	
		a: 順調 b: 順調でない		

具体的取組5-1-1 【区政会議運営事業】

		26決算額	377千 円	27予算額	466千 円	28予算額	217千 円
計画	取組内容	業績目標（中間アウトカム）					
	区政会議において区民の意見やニーズを把握し、区政運営の参考として活用する。 ・区政会議の開催：2回 ・部会の開催：9回	・区政会議について知っている区民の割合：60%以上 【撤退基準】 ・上記目標が30%未満の場合は再構築する。 前年度までの実績 平成27年度実績 ・区政会議の開催：3回 ・部会の開催：9回					
中間振り返り	業績目標の達成状況	① (i)	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須				
	①：目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②：目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③：撤退基準未達成		—				
自己評価	戦略に対する取組の有効性	—	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 取組実績については計画どおり実施し、開催毎に広報紙やホームページによる広報を行ったものの、目標の達成には至らなかった。区民により関心を持ってもらえるように、効果的な広報が必要である。				
	業績目標の達成状況	② (i)	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 区民により関心を持ってもらえるように、区政会議開催日の周知だけでなく、会議内容をわかりやすく広報するなど、情報発信の充実に努める。				
自己評価	区政会議について知っている区民の割合：41% (区民アンケート)						
	①：目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②：目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③：撤退基準未達成						
自己評価	戦略に対する取組の有効性	○					
		○：有効 ×：有効でないため見直す —：中間アウトカム未設定(未測定)					

具体的取組5-1-2

【区民の声を把握する取組】

		26決算額	860千 円	27予算額	1,178千 円	28予算額	1,662千 円
計画	取組内容			業績目標（中間アウトカム）			
	区民の多様な意見やニーズを把握するため、区民アンケートや地域担当職員による情報収集を行う。 ・区民アンケートの実施:4回 ・地域担当職員による地域情報の収集:11地域			・アンケートの調査結果や地域情報を区の事業に反映させた件数:5件 【撤退基準】 ・上記目標が3件未満の場合は事業を再構築する。			
				前年度までの実績 平成27年度実績 ・区民モニターやアンケートの実施:4回 ・地域担当職員による地域情報の収集:11地域			
中間振り返り	業績目標の達成状況		① (i)	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須			
	①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成			—			
	戦略に対する取組の有効性		—	○:有効 ×:有効でないため取組を見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)			
自己評価	取組実績			課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須			
	・区民アンケートの実施:4回 ・地域担当職員による地域情報の収集:11地域			—			
	業績目標の達成状況			改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須			
	・アンケートの調査結果や地域情報を区の事業に反映させた件数:5件(わかりやすい情報発信の取組み、子どもの体力向上事業の予算化、放置自転車対策、まち歩きの実施、防犯カメラの設置)		① (i)	—			
		①:目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②:目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③:撤退基準未達成					
		戦略に対する取組の有効性		○	○:有効 ×:有効でないため見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)		

めざす成果及び戦略 5-2 【情報発信機能の多様な活用】

計画	めざす状態＜概ね3～5年間で念頭に設定＞	戦略＜中期的な取組の方向性＞
	・区役所からの情報が区民にいきわたり、区役所と区民との情報共有が図られている状態	・読みやすくわかりやすい表現の魅力ある広報紙を発行する。 ・広報紙やホームページなど様々な広報媒体を活用するとともに情報発信における地域参加により地域課題の解決を図る。
計画	アウトカム＜めざす状態を数値化した指標＞	
	・区役所からの情報発信により必要とする情報を入手できていると感じている区民の割合：平成28年度末までに80%	

自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性	ア	ア：有効であり、継続して推進 イ：有効でないため、戦略を見直す	課題	※有効性が「イ」の場合は必須
	アウトカムの達成状況		前年度 個別 全体		
	区役所からの情報発信がわかりやすいと感じている区民の割合：76%（区民アンケート）		84% A A		
				今後の対応方向	※有効性が「イ」の場合は必須
			A：順調 B：順調でない		
	戦略の進捗状況	a	a：順調 b：順調でない		

具体的取組5-2-1 【広報・情報発信の充実】

26決算額 8,951千 円 | 27予算額 16,131千 円 | 28予算額 14,464千 円

計画	取組内容	業績目標（中間アウトカム）
	様々な広報媒体を活用し、わかりやすく魅力的な広報を行うとともに、地域参加型の広報紙配布業務を通じて、多様化する地域課題の解決を図る。 ・地域情報の広報紙への掲載：12回 ・広報板の活用：24回 ・区長からのメッセージの情報発信：12回	・区役所からの広報に満足している区民の割合：80%以上 【撤退基準】 ・上記目標が40%未満の場合は再構築する。 前年度までの実績 平成27年度実績 ・地域情報の広報紙への掲載：12回 ・広報板の活用：24回 ・区長からのメッセージの情報発信：24回

中間振り返り	業績目標の達成状況	① (i)	課題と改善策	※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①：目標達成（見込）（i）取組は予定どおり進捗（ii）取組は予定どおり進捗していない ②：目標未達成（見込）（i）取組は予定どおり進捗（ii）取組は予定どおり進捗していない ③：撤退基準未達成			
	戦略に対する取組の有効性	—	○：有効 ×：有効でないため取組を見直す —：中間アウトカム未設定（未測定）	

自己評価	取組実績		課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	・地域情報の広報紙への掲載:12回 ・広報板の活用:24回 ・区長からのメッセージの情報発信:24回		広報の満足度は比較的高い水準で推移(H27 84% → H28 76%)しているが、業績目標の達成には至らなかった。平成27年度から広報紙を全戸配布に変更することで、より多くの区民に届けられることができたが、区民アンケートの結果からも若者世代や現役世代への積極的な情報発信が課題である。	
	業績目標の達成状況		改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	・区役所からの広報に満足している区民の割合:76%(区民アンケート)	② (i)	わかりやすく読みやすい広報紙づくりに引き続き努めていくとともに、ホームページやツイッター等、多様な媒体を積極的に活用し、更なる情報発信の充実に努めていく。	
	①:目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②:目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③:撤退基準未達成			
戦略に対する取組の有効性	○	○:有効 ×:有効でないため見直す ―:中間アウトカム未設定(未測定)		

めざす成果及び戦略 5-3 【便利で信頼される区役所づくり】

計画	めざす状態＜概ね3～5年間で念頭に設定＞			戦略＜中期的な取組の方向性＞	
	窓口業務等において、区民がサービスの向上を実感できる状態			・来庁者の声を取り入れ、区民サービスの向上につなげるとともに、職員がやりがいを感じて業務に取り組む職場風土を作る。	
	アウトカム＜めざす状態を数値化した指標＞				
	・窓口業務などについてサービスの向上が図られていると感じている区民の割合：28年度までに80%以上				

自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性		ア	ア：有効であり、継続して推進 イ：有効でないため、戦略を見直す		課題	※有効性が「イ」の場合は必須	
	アウトカムの達成状況			前年度	個別	全体	—	
	・窓口業務などについてサービスの向上が図られていると感じている区民の割合：83%			83%	A	A	今後の対応方向	
							※有効性が「イ」の場合は必須	
							—	
	A：順調 B：順調でない							
戦略の進捗状況		a	a：順調 b：順調でない					

具体的取組5-3-1 【区民サービスの向上】

		26決算額	— 円	27予算額	— 円	28予算額	— 円
計画	取組内容			業績目標（中間アウトカム）			
	来庁者に対して「来庁者満足調査」を行い、環境改善に取り入れる。			・区役所の区民サービスが向上したと感じている区民の割合：70%以上 【撤退基準】 ・上記目標が50%未満の場合は、事業を再構築する。			
中間振り返り	業績目標の達成状況			課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須			
	①：目標達成（見込）（i）取組は予定どおり進捗（ii）取組は予定どおり進捗していない ②：目標未達成（見込）（i）取組は予定どおり進捗（ii）取組は予定どおり進捗していない ③：撤退基準未達成			—			
	戦略に対する取組の有効性						
	—						
自己評価	取組実績			課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須			
	・「来庁者満足調査」アンケート記載用紙の收受（34件）			—			
	業績目標の達成状況			改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須			
	・区役所の区民サービスが向上したと感じている区民の割合：83%（区政運営に関するアンケート）			—			
	①：目標達成（i）取組は予定どおり実施（ii）取組を予定どおり実施しなかった ②：目標未達成（i）取組は予定どおり実施（ii）取組を予定どおり実施しなかった ③：撤退基準未達成						
	戦略に対する取組の有効性						
	○						

具体的取組5-3-2

【職員力向上】

26決算額		—	円	27予算額	—	円	28予算額	—	円
計画	取組内容			業績目標（中間アウトカム）					
	職員の意見や提案を積極的に取り入れ、業務改善につなげる。 ・プロジェクトチームによる業務改善提案の実施 ・情報発信や区民サービス向上のための職員研修の実施			・仕事にやりがいを感じている職員の割合70%以上 【撤退基準】 ・上記目標が50%未満の場合は再構築する。					
	前年度までの実績								
	平成27年度の実績			・職員と区長の意見交換会の開催：30回開催 ・「区民サービス向上プロジェクトチーム」会議の開催：9回					
中間振り返り	業績目標の達成状況		① (i)	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須					
	①：目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②：目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③：撤退基準未達成			—					
	戦略に対する取組の有効性		—						
自己評価	取組実績			課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須					
	・区民サービス向上プロジェクトチーム会議：11回 ・全職員を対象にした区民サービス向上のための職員研修(区長ミーティング)：56回			—					
	業績目標の達成状況								
	・仕事にやりがいを感じている職員の割合：75%(職員アンケート) ① (i)			改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須					
①：目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②：目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③：撤退基準未達成			—						
戦略に対する取組の有効性		○							○：有効 ×：有効でないため見直す —：中間アウトカム未設定(未測定)

